

さとうきび増産に向けた取組の実績及び評価

沖縄県宮古島

増産プロジェクトにおける令和5年産生産計画の達成状況及び今後の取組状況													
生産計画の 達成状況等	1 令和5年産の生産実績												
		収穫面積 (ha)				単収 (kg/10a)				生産量 (t)			
		夏植	春植	株出	計	夏植	春植	株出	計	夏植	春植	株出	計
	H28年産実績	1,623	272	2,320	4,214	9,560	6,534	6,954	7,931	155,147	17,749	161,316	334,212
	H29年産実績	1,409	246	2,880	4,534	6,541	4,297	4,706	5,254	92,167	10,555	135,507	238,229
	H30年産実績	1,120	430	2,521	4,072	6,829	4,257	4,903	5,364	76,512	18,323	123,599	218,434
	R元年産実績	1,386	257	2,471	4,114	6,307	3,325	4,069	4,776	87,400	8,546	100,530	196,477
	R2年産実績	1,272	330	2,288	3,890	8,248	5,258	5,895	6,611	104,926	17,373	134,859	257,159
	R3年産実績	1,600	293	2,619	4,512	7,374	4,514	5,113	5,876	118,010	13,218	133,911	265,139
	R4年度実績	1,204	293	3,022	4,519	7,419	3,941	4,916	5,519	89,352	11,564	148,569	249,485
	R5年増産計画	1,455	251	2,451	4,157	7,594	4,983	5,336	6,105	110,494	12,508	130,783	253,785
	R5年増産実績	1,167	332	2,881	4,380	6,700	4,659	15,470	5,372	78,189	15,470	141,628	235,287
	(対計画比%)	(80.2)	(132.3)	(117.5)	(105.4)	(88.2)	(93.5)	(289.9)	(88.0)	(70.8)	(123.7)	(108.3)	(92.7)
	(対前年比%)	(96.9)	(113.3)	(95.3)	(96.9)	(90.3)	(118.2)	(314.7)	(97.3)	(87.5)	(133.8)	(95.3)	(94.3)
	R7年産増産計画	1,960	293	2,180	4,433	7,900	5,900	5,900	6,800	154,840	17,250	128,510	300,600
2 その他指標の動向 令和4年産→令和5年産													
・株出栽培の割合 66.9% → 65.8% ・さとうきび作農家戸数 3801戸 → 3737戸													
・平均糖度 13.8度 → 14.5度													

増産目標に対する位置づけ	令和5年産 生産計画及び実績については、以下のとおりであった <table><thead><tr><th></th><th>収穫面積</th><th>単収</th><th>生産量</th></tr></thead><tbody><tr><td>(計画)</td><td>4,157ha</td><td>6,105kg/10a</td><td>253,785t</td></tr><tr><td>(実績)</td><td>4,380ha</td><td>5,372kg/10a</td><td>235,287t</td></tr></tbody></table> 令和5年度当初増産目標は、宮古島で4,113ha、単収5.6t/10a、生産量235,287tを計画していた。関係者一体となった増産に向けた取り組みや優良種苗の普及等を行い増産を目指した。株出しの割合が多い事に加え、夏場の生育旺盛期や生育後期の干ばつ等の気象要因もあり目標値には届かず、宮古島全体で増産目標に対し233,268t(対計画比99.1%)の実績となっている。令和5年度は、肥培管理、堆肥の活用、心土破碎の必要性や株出し管理の徹底等、周知を図り増産に向けた取り組みを進めている。		収穫面積	単収	生産量	(計画)	4,157ha	6,105kg/10a	253,785t	(実績)	4,380ha	5,372kg/10a	235,287t
	収穫面積	単収	生産量										
(計画)	4,157ha	6,105kg/10a	253,785t										
(実績)	4,380ha	5,372kg/10a	235,287t										
課題	① さとうきびの生産量は株出しの増加や肥培管理の不足により単収の減少 ② 土壌病害虫被害の軽減 ③ 偏りのない品種構成の適正化を図る												
令和5年産における取組方針	主なさとうきび生産振興策として ① 農地の利用集積及び認定農業者と生産法人の育成の強化 ② 機械化一貫体制(植付作業、管理作業)推進 ③ 優良種苗の普及推進 ④ 土づくりの推進												

(1) 経営基盤の強化

項目	取組実績及び課題	今後の取組方向																																																						
①効率的な さとうきび経営 の育成と労働 力の確保	【実施した取組】 ・オペレーターの育成 ・適切な農地利用、担い手の確保に向けて、各集落毎の地域計画と連動した現状把握	・収穫後の株出作業が行われていないほ場 について、株出管理作業の徹底を推進 ・後継者育成(担い手)の推進 ・農地の利用集積及び認定農業者と生産 法人の育成強化																																																						
	【目標の達成状況】																																																							
	<table><tr><td></td><td>H28</td><td>H29</td><td>H30</td><td>R元</td><td>R2</td><td>R3</td><td>R4</td><td>R5</td></tr><tr><td>認定農業者</td><td>58</td><td>78</td><td>61</td><td>77</td><td>107</td><td>82</td><td>113</td><td>104</td></tr><tr><td>農業法人</td><td>81</td><td>82</td><td>90</td><td>116</td><td>136</td><td>114</td><td>114</td><td>130</td></tr></table>			H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	認定農業者	58	78	61	77	107	82	113	104	農業法人	81	82	90	116	136	114	114	130																											
			H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5																																														
	認定農業者		58	78	61	77	107	82	113	104																																														
農業法人	81	82	90	116	136	114	114	130																																																
注) 宮古島市全体の値																																																								
【課題】 ・収穫後の耕起作業や株出管理作業時のオペレータ確保 ・後継者育成(担い手)と農地の利用集積																																																								
②農業共済制 度への加入促 進	【実施した取組】 ・要件審査申請時における共済加入促進 ・集会等で制度の説明会を開催 ・干ばつ時のかん水費用の一部負担	・共済組合職員による加入推進を継続実施 し、関係機関の連携で周知徹底を図る ・要件審査申請実施時に共済への加入促 進を実施																																																						
	【目標の達成状況】																																																							
	<table><tr><td></td><td>H28 (29年産)</td><td>H29 (30年産)</td><td>H30 (R元年産)</td><td>R元 (R2年産)</td><td>R2 (R3年産)</td><td>R3 (R4年産)</td><td>R4 (R5年産)</td><td>R5 (R6年産)</td></tr><tr><td>加入戸数 (戸)</td><td>1,921</td><td>1,867</td><td>1,727</td><td>1,615</td><td>1,625</td><td>1,729</td><td>1,475</td><td>1,382</td></tr><tr><td>戸数引受率 (%)</td><td>45.4</td><td>46.5</td><td>45.0</td><td>43.0</td><td>41.7</td><td>46.0</td><td>37.9</td><td>36.4</td></tr><tr><td>引受面積 (ha)</td><td>2,163</td><td>1,955</td><td>1,907</td><td>1,695</td><td>1,903</td><td>1,160</td><td>1,371</td><td>1,328</td></tr><tr><td>面積引受率 (%)</td><td>47.7</td><td>48.0</td><td>46.4</td><td>43.6</td><td>42.2</td><td>29.8</td><td>30.4</td><td>29.4</td></tr><tr><td>共済金額 (千円)</td><td>1,616,060</td><td>1,615,370</td><td>1,628,236</td><td>1,440,233</td><td>1,594,527</td><td>1,465,172</td><td>－</td><td>45,032,882</td></tr></table>			H28 (29年産)	H29 (30年産)	H30 (R元年産)	R元 (R2年産)	R2 (R3年産)	R3 (R4年産)	R4 (R5年産)	R5 (R6年産)	加入戸数 (戸)	1,921	1,867	1,727	1,615	1,625	1,729	1,475	1,382	戸数引受率 (%)	45.4	46.5	45.0	43.0	41.7	46.0	37.9	36.4	引受面積 (ha)	2,163	1,955	1,907	1,695	1,903	1,160	1,371	1,328	面積引受率 (%)	47.7	48.0	46.4	43.6	42.2	29.8	30.4	29.4	共済金額 (千円)	1,616,060	1,615,370	1,628,236	1,440,233	1,594,527	1,465,172	－	45,032,882
			H28 (29年産)	H29 (30年産)	H30 (R元年産)	R元 (R2年産)	R2 (R3年産)	R3 (R4年産)	R4 (R5年産)	R5 (R6年産)																																														
	加入戸数 (戸)		1,921	1,867	1,727	1,615	1,625	1,729	1,475	1,382																																														
	戸数引受率 (%)		45.4	46.5	45.0	43.0	41.7	46.0	37.9	36.4																																														
	引受面積 (ha)		2,163	1,955	1,907	1,695	1,903	1,160	1,371	1,328																																														
	面積引受率 (%)		47.7	48.0	46.4	43.6	42.2	29.8	30.4	29.4																																														
	共済金額 (千円)		1,616,060	1,615,370	1,628,236	1,440,233	1,594,527	1,465,172	－	45,032,882																																														
	注) R4、R5 年産の数値については概算値																																																							
【課題】 ・土地基盤整備が進み被害意識が少なくなった																																																								

(2) 生産基盤の強化

項目	取組実績及び課題									今後の取組方向
①気象災害に強い生産基盤の整備	【実施した取組】									・未整備地区への早期事業導入に向けた説明会等の実施 ・防風林の日啓蒙活動の継続 ・畑地かんがい整備等により水の確保を図るとともに、干ばつ時のかん水費用の一部助成
	・防風林の日啓発活動									
	・土地改良事業の迅速な実施									
	【目標の達成状況】 (単位: %)									
		H28 実績	H29 実績	H30 実績	R元 実績	R2 実績	R3 実績	R4 実績	R5 見込	
	ほ場整備率	59.3	60.7	61.7	62.9	63.3	64.0	66.3	66.3	
	水源整備率	83.1	83.1	83.1	83.1	83.1	83.1	84.6	84.6	
畑地かんがい整備率	68.4	68.5	69.4	70.1	71.1	71.0	72.7	73.5		
注) 整備率は宮古島市全体の値										
【課題】										
・土地基盤整備や畑地かんがい整備も遅れている										

②機械化一貫 体系の確立	【実施した取組】 ・補助事業を活用した、ハーベスタ、トラクタ、株出作業機、植付機等による機械化一貫体系推進 ・さとうきび生産性向上緊急支援事業を活用したオペレーター等雇用経費助成 【目標の達成状況】 (単位:台、ha、%) <table><tr><th></th><th>H28</th><th>H29</th><th>H30</th><th>R元</th><th>R2</th><th>R3</th><th>R4</th><th>R5</th></tr><tr><td>ハーベスタ 稼働台数</td><td>109</td><td>118</td><td>127</td><td>122</td><td>125</td><td>138</td><td>138</td><td>119</td></tr><tr><td>ハーベスタ 収穫面積</td><td>3,150</td><td>3,594</td><td>3,564</td><td>3,700</td><td>3,505</td><td>4,223</td><td>4,223</td><td>4,253</td></tr><tr><td>ハーベスタ 収穫率(面積)</td><td>74.8</td><td>79.3</td><td>87.5</td><td>89.9</td><td>90.7</td><td>93.6</td><td>91.6</td><td>97.1</td></tr></table> 【課題】 ・収穫時期のオペレータ確保 ・小型ハーベスターでは、夏植の収穫が困難(高単収ほ場)な状況が見られる ・植付作業体系の確立		H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5	ハーベスタ 稼働台数	109	118	127	122	125	138	138	119	ハーベスタ 収穫面積	3,150	3,594	3,564	3,700	3,505	4,223	4,223	4,253	ハーベスタ 収穫率(面積)	74.8	79.3	87.5	89.9	90.7	93.6	91.6	97.1	・収穫時期、収穫後の管理作業オペレータの確保 ・機械化一貫体系(植付作業、管理作業)推進 ・高単収ほ場の効率的な収穫等を図るため、小型ハーベスタとともに中型ハーベスタの導入を検討
	H28	H29	H30	R元	R2	R3	R4	R5																														
ハーベスタ 稼働台数	109	118	127	122	125	138	138	119																														
ハーベスタ 収穫面積	3,150	3,594	3,564	3,700	3,505	4,223	4,223	4,253																														
ハーベスタ 収穫率(面積)	74.8	79.3	87.5	89.9	90.7	93.6	91.6	97.1																														
③地力の増進	【実施した取組】 ・さとうきび生産性向上緊急支援事業を活用した心土破碎作業等への助成(糖業振興会) ・有機質肥料、地力増進の補助(市単独補助) ・緑肥種子の購入及びすき込みの補助(JA事業) 【課題】 ・土づくりの意識向上 ・堆肥等の散布機械の不足 ・堆肥等を活用した土づくり対策の取組	・土づくりの意識向上及び補助事業の継続実施 ・製糖工場から出るトラッシュ及びバガス等の活用 ・散布機械の導入を促進																																				

(3) 技術対策

項目	取組実績及び課題	今後の取組方向																																																															
①病害虫対策	【実施した取組】 ・セーフティーネット基金の活用(農薬補助) ・病害虫農薬の補助(市単独補助) ・チラシによる病害虫対策啓発活動 【課題】 ・黒穂病に対する農家の認識不足 ・アオドウガネ等防除対策における植付時の粒剤施用の徹底、適期肥培管理による耕種的防除の推進 ・株出からの採苗でのほ場が多く見られるため種苗の更新を促す	・病害虫農薬補助の継続実施 ・新植夏植え時の黒穂病対策(罹病株の早期抜き取り)の周知徹底 ・チラシによる病害虫対策啓蒙活動の継続実施 ・アオドウガネ誘殺灯の一斉設置による防除(5～7月)																																																															
②優良品種の選択・普及	【実施した取組】 ・県の優良種苗安定確保事業による優良種苗の普及推進 ・台風、干ばつ等に抵抗性のある品種の導入による品種構成の適正化を図る ・新品种の実証展示ほの活用により地域適正品種の選定 【目標の達成状況】 (単位:%) <table><tr><th></th><th>H28 (実績)</th><th>H29 (実績)</th><th>H30 (実績)</th><th>R元 (実績)</th><th>R2 (実績)</th><th>R3 (実績)</th><th>R4 (実績)</th><th>R5 (実績)</th></tr><tr><td>農林15号</td><td>0.3</td><td>0.6</td><td>0.1</td><td>0.3</td><td>0.4</td><td>0.4</td><td>0.2</td><td>0.1</td></tr><tr><td>宮古1号</td><td>0.5</td><td>0.4</td><td>－</td><td>0.3</td><td>0.2</td><td>0.1</td><td>－</td><td>－</td></tr><tr><td>農林21号</td><td>8.9</td><td>9.1</td><td>9.3</td><td>7.3</td><td>6.7</td><td>6.1</td><td>5.6</td><td>5.4</td></tr><tr><td>農林25号</td><td>11.3</td><td>8.1</td><td>7.7</td><td>5.2</td><td>5.7</td><td>7.2</td><td>6.7</td><td>0.1</td></tr><tr><td>農林27号</td><td>70.7</td><td>68.3</td><td>59.9</td><td>61.6</td><td>59.3</td><td>63.1</td><td>36.3</td><td>52.1</td></tr><tr><td>RK97-14</td><td>－</td><td>0.1</td><td>7.6</td><td>9.3</td><td>7.6</td><td>5.7</td><td>4.5</td><td>2.5</td></tr></table> 【課題】 ・偏った品種構成(特に農林27号が約6割を占めており、適正な品種構成が必要)		H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (実績)	R元 (実績)	R2 (実績)	R3 (実績)	R4 (実績)	R5 (実績)	農林15号	0.3	0.6	0.1	0.3	0.4	0.4	0.2	0.1	宮古1号	0.5	0.4	－	0.3	0.2	0.1	－	－	農林21号	8.9	9.1	9.3	7.3	6.7	6.1	5.6	5.4	農林25号	11.3	8.1	7.7	5.2	5.7	7.2	6.7	0.1	農林27号	70.7	68.3	59.9	61.6	59.3	63.1	36.3	52.1	RK97-14	－	0.1	7.6	9.3	7.6	5.7	4.5	2.5	・品種構成の適正化及び普及、導入を図る ・品種構成の適正化及び普及、導入を図る優良種苗安定確保事業を通じた奨励品種並びに地域適正品種の普及促進
	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (実績)	R元 (実績)	R2 (実績)	R3 (実績)	R4 (実績)	R5 (実績)																																																									
農林15号	0.3	0.6	0.1	0.3	0.4	0.4	0.2	0.1																																																									
宮古1号	0.5	0.4	－	0.3	0.2	0.1	－	－																																																									
農林21号	8.9	9.1	9.3	7.3	6.7	6.1	5.6	5.4																																																									
農林25号	11.3	8.1	7.7	5.2	5.7	7.2	6.7	0.1																																																									
農林27号	70.7	68.3	59.9	61.6	59.3	63.1	36.3	52.1																																																									
RK97-14	－	0.1	7.6	9.3	7.6	5.7	4.5	2.5																																																									

③栽培技術の普及等	・さとうきび講習会の開催 ・台風後の除塩のため適切なかん水作業実施の呼びかけ 【課題】 ・品種にあった肥培管理の徹底 ・株出栽培の急激な増加に対して、十分な株出管理作業が実施されておらず、低単収	・新植夏植栽培を行う農家を支援する
-----------	--	---